



JBL Loudspeaker Systems & Components



Powered by **JBL**



The JBL Way

JBL社を設立し今日のスピーカー技術の基礎を築いた男、"ジェームス・B・ランシング"。JBLの名は彼のイニシャルに由来するものです。1902年、イリノイ州に生まれた彼は生来の科学好きで、少年時代には世界でもっとも早い時期にラジオ送信機を製作、天才ぶりを発揮しています。そして、22歳の年にケン・デッカーと出会いスピーカーづくりを志すことになりました。かたくなに妥協を拒み常に完璧を志向した彼は、その生涯を音に捧げてゆきます。

■1927年、スピーカー造りの第一歩が始まった。ランシングとケン・デッカーの2人は1927年にロサンジェルスに移り「ランシング・マニュファクチュアリング社」を創立しまし

た。時はまさにトーキー時代を迎え、若き天才エンジニア、ランシングも大きく飛躍することとなります。その頃MGM映画社から劇場用スピーカー・システムの製作を依頼された彼は、全力を傾注してついに1934年、そのシステムを完成しました。38cm径ウーファーのダブルホーンとマルチセラーホーンによる大型劇場用2ウェイシステムは「シャラーホーン・システム」と呼ばれ、1936年には映画芸術科学アカデミー賞を受賞し高い評価を得たのです。さらに、翌年完成した小型システム「アイコンック」も大きな成功をおさめ、JBLサウンドの原点を確立するとともに彼の名を広く世界に知らしめることとなりました。

■1946年、ジェームス・B・ランシング社設立。第2次大戦が終わって間もない46年に彼は自らの理想を貫くためジェームス・B・ランシング社を設立します。そして翌年、彼は38cm径ワイドレンジユニットの傑作D130を生み出したのです。D130は100%エッジワイズ巻きボイスコイル、空気成型アルミセンタードーム、アルニコVを使用した強力磁気回路など画期的な技術により完成度を極めました。そして、D131、D208、175などを続けて完成。その基礎技術と精神は今なおJBL製品に息づいています。

■JBLの歴史を創りあげてきた名器たち。1954年に誕生したD30085「ハーツフィールド」によりJBLの名は一躍世界に轟くこととなります。翌年ライフ誌の表紙を飾ったハーツフィールドは「究極のスピーカー」と絶賛されたのです。38cm径の150-4Cウーファー、金色に輝く537-509ホーン・レンズと375ドライバーを優雅なフォル

ムに納めたこのシステムは、JBLクラフトマンシップの具象化といっても良いでしょう。また、ステレオLPが出現した1957年にはオールホーンのステレオスピーカー「パリス」が登場します。木工の芸術品とも呼びたくなる優美なスタイルのパラゴンは20余年を経た現在でもJBLの象徴的システムとして君臨し続けているのです。1962年にはJBLスタジオモニターの原器C50SMが完成します。そして、これらの経験を通して得られた多くのノウハウと高度なテクノロジーを具現化し71年にはプロフェッショナル・シリーズが発足、後に世界中のスタジオを席巻してしまいました。

■時代をつねにリードする最新鋭モデル。80年代に入ってもJBLは躍進し続けています。広帯域化のため3-4ウェイが主流となった現代においてもJBLは4435、4430によって新たな2ウェイ・モニター時代を築き上

げました。またプレイバック・モニターの最高峰4355は、デジタルエイジにふさわしいフューチャーで偉容を誇っています。一方コンシューマー機の新たなフラッグシップとして登場したTiシリーズは、ハーツフィールド・パラゴン以来のJBLホーム・スピーカーの新しい流れとしてデビューしました。

■JBL製品を生み出す伝統のマニュファクチュア。JBL社はロサンジェルス郊外のノースリッジに本拠を構えています。まるで緑地公園のような景観の敷地に見事なまでに調和した本社工場からすべてのJBL製品が生み出されているのです。製品の構成パーツはもとより、それらに必要な治工具類まで自社で製作しています。ボイスコイルの巻線技術をマスターするにも8-10年、機械では今だに不可能な精度を、鍛えあげられた手の技がしっかりと支えているのです。これは一切の妥協を嫌ったランシングの思想を正統に継承するものといえましょう。

■ランシングを受け継ぐJBLテクノロジー。JBLテクノロジーの基礎は、ほとんどがランシングによって築かれました。そればかりか今日のスピーカー技術の大半が彼の手によるものといえましょう。エッジワイズ巻きボイスコイル、切削加工の強力磁気回路、コンプレッション・ドライバーなど枚挙にいとまがありません。もちろんその先進性は今日のJBL製品にも受け継がれているのです。たとえばマグネットのフェライト化にともなって開発されたSFG磁気回路は、アルニコV以上の磁気特性を得ると同時に驚異的な低歪率を実現しました。また、ユニークな形状のバイラジアルホーンは広帯域にわたって均一な指向特性を確保しています。さらに、コンプレッション・ドライバーのダイヤフラムにはダイヤモンド・サスペンション構造とピュアチタンを採用し高域特性の向上を図るとともに信頼性も格段に高めることができました。

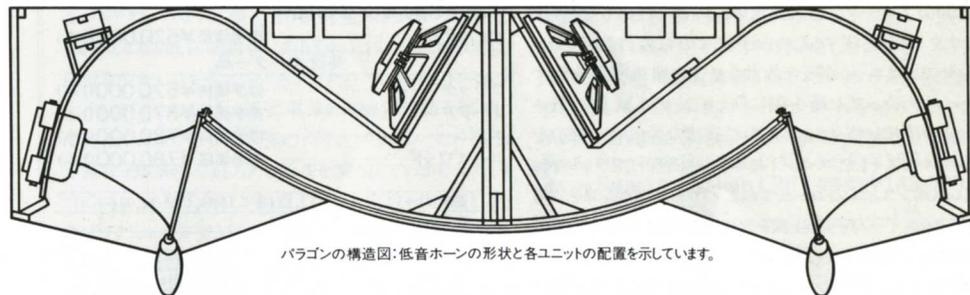


Paragon

D44000WXA

1957年、ステレオLPの登場とともに誕生したステレオ・スピーカー「パラゴン」。明快でエネルギー溢れるJBLサウンドと独特の造型美を誇り、20余年にわたってスピーカーシステムの頂点に立っています。その最大の魅力は、ステレオ再生の基本を確実にとらえて完成したユニークなフォルムです。中央に半円形の反射パネルをもち、3ウェイユニットを左右に配することで広がりあるステレオ音像を実現しています。これはJBLの卓越した音響技術と木工技術の成果であり、同時に、時代を超える不変性をもったスタイリングとなっています。オールホーン型として臨場感あるサウンドを実現したユニットはすべて選りすぐられたものを採用しました。重厚で量感ある低音域を再生するウーファーは38cm径のLE15Hです。低歪率(SFG)磁気回路や10.2cm径精密加工ボイスコイルなど厳選したパーツで構成したLE15Hは、S字型のフロントローディングホーンに接続され雄大なスケールの低音域を再生。明快で歯切れよい中高音域は大型コンプレッション・ド

ライバー376が再生します。新開発ダイヤモンド・サスペンション採用の大口径ダイヤフラムは500Hz~18kHzのワイドレンジを実現、広いダイナミックレンジ、優れた過渡応答をもって質感あるサウンドを再現。これに、アルミダイキャスト製楕円ホーンH5038Pを取付け、センターパネルに反射させて均一な拡散をはかっています。7kHz以上はリング・ラジエーター075が、つややかで透明な音質で再生、指向特性も優れているため一段とシャープなステレオ音像を得ています。これらユニット群の再現するサウンドは雄大な響きから微妙な音色のディテールまで濃密に再生、抜群の表現力を誇ります。



パラゴンの構造図:低音ホーンの形状と各ユニットの配置を示しています。

また、複雑で精巧な内部構造もパラゴンの完成度の高さを証明しています。とくに、手造りの極致ともいえるセンターパネルや低音用のフロントローディングホーンは精密な計算に基づいて設計され、再生音の臨場感を一段と高めています。不朽の名器パラゴンは、JBLサウンドを視覚にさえ訴求する最高級システムとしてオーディオファイルを魅了し続けます。

標準価格 ¥3,500,000

使用ユニット	LE15H、376 + H5038P、075(各2)
許容入力	125W(連続プログラム)
インピーダンス	8Ω
音圧レベル	96dB(1W、1m)
クロスオーバー周波数	500Hz、7kHz
寸法(W×H×D)	263×96×74cm
重量(梱包時)	318.4kg



L250

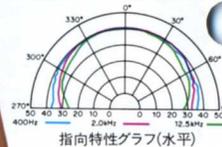
L250のユニークな造形美は単に斬新なだけでなく理想のサウンドを実現するための手法なのです。台形のフロントパツフルはエッジ部をわん曲させ音の回折現象を防ぎピークやディップを最小限に抑えることができ、また、各ユニットの位相を整合させる目的で適度なスラント(傾斜)を与えています。そして、スタジオモニターと同様にフラットな軸上レスポンスとコントロールされたパワーレスポンスを得るためクロスオーバー周波数を緊密に設定し、そのすべてのポイントは6dB/octに統一しました。さらに、使用ユニットを左右対称のフロントパネルに縦一列に配置することでシャープな音像定位を実現。また、アッテネーターにはバス・パワー方式を採用し高い信頼性を得ています。標準のウォルナット仕上げのほか4種の仕上げを用意しました。

4way Speaker System

ウォルナット	標準価格 ¥520,000 (1本)
受注オーダー品	
ブラック	標準価格 ¥520,000 (1本)
オーク	標準価格 ¥570,000 (1本)
エボニー	標準価格 ¥780,000 (1本)
ローズウッド	標準価格 ¥780,000 (1本)

使用ユニット	LE14H-1, 108H, LE5-11, 044-1
許容入力(*)	200W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(1W, 1m)	90dB
クロスオーバー周波数	400Hz, 1.6kHz, 4.5kHz
寸法(W×H×D)	57.2×132.1×36.2cm
重量	61.4kg

(*) IEC規格に基づいて測定した値です。



●ウォルナット仕様



L150A・L112・L96

●フロア型システムの魅力は、大容量エンクロージャーによるゆとりある低音域再生にあります。L150Aはフロア型の長所を生かしながらスペースファクターを追求しトールボーイスタイルとしました。低歪率SFG磁気回路を搭載した30cmウーファーに同口径のパスシブラジエーターを加え実在感に満ちた迫力ある低音を実現しています。また、4つのユニットをインライン配置とし音像定位も高めました。

●ブックシェルフ型3ウェイシステムL112はJBLスタジオモニターと同等の技術を投入し開発されました。30cm口径ウーファーはSFG磁気回路を搭載、コーンにはランサブラス処理を施し剛性を高めながら適度なダンピング量を導いています。ユニット配置は〈ミラー・イメージペア〉構成としモニター機譲りともいえる明確な音像定位を約束します。

●3ウェイの新鋭機L96はアナログからデジタルへ、という時代の流れに対応すべく開発されました。使用ユニットをはじめとして随所に上級機と同等のテクノロジーを注ぎ込み最新のソースに対応するポテンシャルを秘めています。

3way Speaker System L150A	標準価格 ¥290,000 (1本)
3way Speaker System L112	標準価格 ¥168,000 (1本)
3way Speaker System L96	標準価格 ¥148,000 (1本)

使用ユニット	L150A	L112	L96
許容入力(*)	128H, PR300 LE5-12, 044	128H, LE5-12 044	LE10H LE5-12, 044
インピーダンス	100W	100W	100W
音圧レベル(1W, 1m)	8Ω	8Ω	8Ω
クロスオーバー周波数	89dB	89dB	89dB
寸法(W×H×D)	1.1kHz, 3.7kHz	1.1kHz, 3.7kHz	1.1kHz, 3.7kHz
重量(梱包時)	43.2×105.4 ×33.0cm	36.2×62.2 ×33.3cm	36.2×59.7 ×29.8cm
	41kg	25kg	24kg

(*) IEC規格に基づいて測定した値です。



L56・L46・L15

●JBLのスピーカーシステムの原点は2ウェイにある、とさえいわれています。その名器の系譜に新たに加わったL56は25cm口径ウーファーとドームツイーターをJBLクラフトマンシップあふれる美しいエンクロージャーに収めたシステムです。アコースティックギターのさわやかな響き、ボーカルのみずみずしさ、ドラムスの明快な立ち上がりなど、音楽の持つダイナミズムを的確にとらえるL56は、2ウェイ機の魅力を再認識させるに十分なポテンシャルを秘めています。

●L46は音楽シーンと録音技術の進歩に合わせて開発されました。クラシックにおけるストリングスの絶妙なハーモニー、ジャズでは熱気こもるソロイストとリズムセクションとのインタープレイの妙、フュージョン系の小気味良い16ビートのリズムなどを生き生きと再現します。音楽のスピリットを余すことなく伝える20cm径2ウェイモデルです。

●コンパクトモニター4401と同一のユニットを用い、ホームユースを前提として開発されたのがこのL15です。JBLの伝統と先進的テクノロジーが息づくL15は特別なスキルを必要とせずクオリティの高いサウンドが得られます。JBLサウンドへの入門機として最適なシステムといえましょう。

2way Speaker System L56 標準価格 ¥90,000 (1本)
 2way Speaker System L46 標準価格 ¥70,000 (1本)
 2way Speaker System L15 標準価格 ¥60,000 (1本)

	L56	L46	L15
使用ユニット	118H, 034	117H, 034	115H, 034
許容入力(*)	70W	70W	60W
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω
音圧レベル (1W, 1m)	90dB	88dB	87dB
クロスオーバー周波数	2.2kHz	3kHz	2.5kHz
寸法 (W×H×D)	35.6×56.5	31.7×52.7	23.8×37.5
	×29.8cm	×26.7cm	×18.3cm
重量 (梱包時)	20kg	13kg	16kg

(*)IEC規格に基づいて測定した値です。

●グリルカラー (L56、L46、L15共通)

BR (ブラウン)

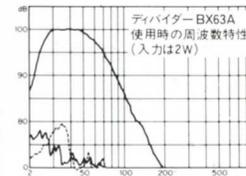
L56コンポーネント



B460・B380

●録音技術の進歩によりプログラムソースには膨大な低音情報が収められ、そのすべてを既存のシステムに追加することでクリアに再生するのがB460です。内容積227ℓのキャビネットは高密度スーパーティクルボードを使用、入念な補強とチューニングを行っています。搭載した46cm径ウーファーのコーン紙にはアクアプラス処理を施し最適質量と高い剛性を確保し、ロングボイスコイルの採用で大小出力時の歪を低減しました。専用のBX63AはLRの信号を合成しセンターウーファー用の駆動信号をとり出します。さらに便利なブリッジ接続用端子も装備しました。

●より多くのファンにリアルな超低音再生の世界を。B380はB460の血統をダイレクトに受継いで開発されました。27ℓのエンクロージャーに38cm径強力型ウーファーを搭載したB380はJBLの小型システムの持ち味をスポイルせずに低音域のレンジ拡大が図れます。縦置き、横置きで使えるフリースタANDING設計がなされています。



Super Woofer System B460
 ウォルナット 標準価格 ¥350,000 (1本)
 受注 ブラック/オーク 標準価格 ¥440,000 (1本)
 オーダー エボニー/ローズウッド 標準価格 ¥530,000 (1本)

Super Woofer System B380
 ウォルナット 標準価格 ¥170,000 (1本)

	B460	B380
使用アンプ出力 (MAX)	800W (RMS)	600W (RMS)
音圧レベル (1W, 1m)	94dB	90dB
インピーダンス	8Ω	8Ω
推奨クロスオーバー周波数	63Hz	63Hz
寸法 (W×H×D)	97.4×63.1×61.4cm	52.7×69.9×43.2cm
重量 (梱包時)	57kg	32kg





JBLが提案する新しい形のホーム・スピーカーです。Tiシリーズの名称の由来となったピュアチタン・ツイーターをはじめ、かざかざのニュー・テクノロジーを美しいチーク仕上げのエンクロージャーに収め、生活空間に自然に届けたい家庭用システム。ライフスタイルに合わせて4種類を用意しました。

18Ti Tiシリーズの中で最もコンパクトな製品。ピュアチタン・ドーム・ツイーターと16cm径特殊コーン・ウーファの2ウェイシステムです。軽量で高剛性。耐久力にもすぐれたピュアチタン材を独自の技術でわずか25ミクロン厚のドームに成型。日本の折紙細工にヒントを得たダイヤモンドエッジパターンと補強リブを組み合わせ、能率を犠牲にすることなく27kHzの超高域までフラットなレスポンスを得ています。18Tiは、この044Tiツイーターと特殊ポリプロピレンコーン・ウーファを組み合わせ、スタンドやブックシェルフへのセッティングに最適なスモールサイズとしました。音質劣化を最少限に抑えるフローティング・グリルも上級機ゆずりです。



120Ti オーソドックスなブックシェルフ・サイズの3ウェイシステム。ピュアチタン・ツイーターに加え、ミッドレンジは13cm径特殊ポリプロピレンコーンをしてウーファはアクアプラス複合コーンの30cm径SFGタイプ。スタンダードな構成のなかに、JBLのオリジナル技術が絶妙のバランスと完成度で集大成されています。中～高域の美しさに加えて、低音帯域の充実ぶりはブックシェルフ型の常識外ともいえるほど。壁から離れたセッティングも可能です。ミッドレンジとツイーターのレベルコントロールは2段階切換え式。前面グリルはフローティング式です。

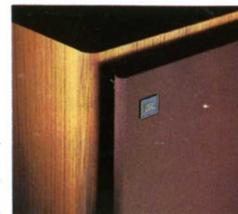
240Ti ツイーター、ミッドレンジは120Tiと同じユニットを使いながら、ウーファに36cm径アクアプラス複合コーンを用いてさらに低域レスポンスをフラット化した、3ウェイ中型フロア・システムです。回折効果を抑えたラウンドバッフル・エンクロージャー、厳密な設計のネットワーク回路、特注配線材、そしてフローティング・グリル。いずれも徹底した音質重



120Ti

18Ti

視の結果です。新しい素材と厳密な設計、入念なテストを繰り返して究められた音の中に、JBLの伝統と底力をはっきりと聴きとることができるでしょう。アッテネーターは音質の変化を避けた2段階切換え式。入力ターミナルは金メッキ処理です。



モデルです。各ユニットの位相整合やエンクロージャーの回折効果、さらには背面ダクトの位置まで厳密に計算しつくされた必然のピラミッド型。240Tiのユニットに20cm径ミッドバス・コーンを加えた4ウェイ構成は、バイパス・コンデンサー使用のネットワークによって歪みを抑え、素材とフォルムを最大限に生かします。

250Ti TiシリーズにこめられたJBLのフィロソフィーを代表する新たなフラッグシップ

2way Speaker System 18Ti 標準価格 ¥78,000(1本)
3way Speaker System 120Ti 標準価格 ¥188,000(1本)
3way Speaker System 240Ti 標準価格 ¥278,000(1本)
4way Speaker System 250Ti 標準価格 ¥490,000(1本)

	18Ti	120Ti	240Ti	250Ti
使用ユニット (ウーファ)	(16cm)115H-1、044Ti	(30cm)128H-1、104H、044Ti	(36cm)LE14H-1、104H、044Ti	(36cm)LE14H-1、108H、104H、044Ti-1
許容入力(ピンクノイズ)	100W	150W	150W	200W
周波数特性(-6dB)	45Hz~27kHz	35Hz~27kHz	30Hz~27kHz	30Hz~27kHz
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω	5Ω
音圧レベル(1W、1m)	88dB	89dB	89dB	90dB
クロスオーバー周波数	3kHz	900Hz、4kHz	900Hz、4kHz	400Hz、1.4kHz、5.2kHz
寸法(W×H×D)	23.8×39.0×22.5cm	36.2×62.2×31.0cm	45.7×93.0×33.5cm	57.2×132.1×36.2cm
重量	8kg	25.5kg	38.6kg	68kg



250Ti

240Ti

J216PRO・J216A



日夜さまざまな音楽が鳴り響くミュージックスタジオ。そこではモニター・スピーカーは、夜も昼もなく過酷な条件の下であらゆるジャンルの音楽を再現しなければなりません。待っているのはプロのミュージシャンの耳。どんなときでも歪んだり壊れたりしてはならないのです。音質・性能とともに強靱な耐久性が要求されるスタジオ・モニターのテクノロジーを、JBLは家庭用システムにも取り入れようと考えました。素材は徹底的にテストされ、設計は納得のゆくまで吟味を重ねられました。こうして積み上げられた



ポリプロピレン・コーティング
16.5cmウーファー

音質劣化を最少限に抑える
フローティンググリル



ピュアチタン蒸着
ダイアフラムの高感度ツイーター

技術がプロ感覚にあふれた小型システムJ216にいま、結晶したのです。

●ピュアチタン蒸着ダイアフラム・ツイーター

軽くて剛性に富み、強い耐久性を備えたピュアチタン材を、蒸着という手法でダイアフラムに取り入れました。低歪率

で高効率、高耐入力チタン・ダイアフラムは、J216のツイーター素材としてうってつけといえるでしょう。レスポンスは超えてすなおに伸びてあくまでもニアです。

●ポリプロピレン・コーティング16.5cm径ウーファー

J216のコンパクトなボディを考えたとき、ウーファーは16.5cm以外には考えられません。パルプ・ベースにハイポリマー複合材をラミネートしたこのウーファーは、適度な剛性とマスをもち、不可聴レベルまで歪



J216PRO



一台一台、クオリティを保證する
シリアルナンバー

プロ感覚にあふれたJBLの
ロゴマーク。(J216PRO)

みを下げています。コーンの動きは正確で本物のピストンに近く、さらに伸びきった高域に対応して、クリアでパンチにあふれた低音を聴かせてくれるのです。

●高効率ニア・レスポンス

ピュアチタン蒸着ツイーターとポリプロピレンコーン・ウーファーの組み合わせは、低域から超高域までニアリティに優れた周波数特性をもっています。同時に高効率で高耐入力なところがJ216の特長です。フラットな特性を引き換えに能率を犠牲にしなかったJBLの思想と技術が、ここにも生かされています。



J216A

●音質劣化を最少限に抑えるフローティング・グリル

グリルによる微妙な音質の変化、とくにグリル枠の反射によるレスポンスの乱れは、通常のグリル形態では避け得ないものでした。J216に採用されたフローティング・グリルは、枠をバツフルから浮かせたユニークな構造。堅牢なエンクロージャーとともに、ユニットのすぐれた性能を生かしています。ブラック・ボディのJ216PROとウォールナットのJ216A。2ウェイのシンプルなシステムで熱いハートを伝えます。

2way Speaker System J216PRO 標準価格¥33,000(1本)
2way Speaker System J216A 標準価格¥32,000(1本)

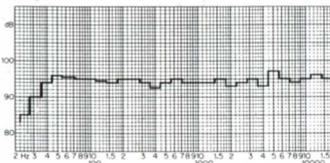
使用ユニット	16.5cmウーファー、チタン蒸着ドームツイーター
許容入力(連続プログラム)	60W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(1W、1m)	87dB
クロスオーバー周波数	3.6kHz
寸法(W×H×D)	29.4×37.5×23.5cm
重量	8.2kg

* J216PROにはJBLステッカーが2枚封入されています。



4355 Studio Monitor

JBLスタジオモニターの最高峰4355は高い音圧レベルを要求される大型スタジオ用として開発されました。その原器は、JBL初の4ウェイモニターとして1972年に誕生した4350です。以後、幾度かの技術改良を経て4350Bへと発展しましたがさらに高い完成度を求め大幅なモディファイを加え4355が生まれました。このシステムのベースとなるパラレル接続された38cm口径ウーファーには最新の強力型2235Hを採用し高耐久力化、高能率化を図るとともに低域特性を極限と呼べるほど高めています。また、290Hz・18dB/octのクロスオーバー周波数でマルチアンプドライブ(専用デバイダー5234とフィルター基板は別売)することによりクオリティの高いサウンドを実現しました。このほかJBLの伝統が息づく30cm口径ミッドウーファー2202H、ダイヤモンドエッジの採用でワイドレンジ化を実現し、高能率・広ダイナミックレンジを誇る大型ドライバー2441+ホーンレンズ、10kHz以上を再生するツイーターは高い使用実績を誇る2405Hなど、厳選したコンポーネントで構成されています。同時に明確な音像定位を実現するようドライバー、ツイーターの左右入替も可能です。また、新たに設計されたネットワークはツイーター、ドライバーのアッテネーション機能を備えました。高い許容入力、ワイドでフラットな周波数特性などデジタルエイジにふさわしいポテンシャルを身をつめた最高規範モデルです。



4355の周波数特性図

標準価格……………¥1,200,000(1本)

許容入力(連続プログラム)①	400W(290Hz以下)、200W(290Hz以上)
インピーダンス	4Ω(290Hz以下)、8Ω(290Hz以上)
周波数特性(±3dB)	31.5Hz-18kHz
指向性(水平×垂直)	60°×30°(12kHz)
音圧レベル(1W,1m)②	96dB
クロスオーバー周波数	290Hz、1.2kHz、10kHz
エンクロージャー容積	269ℓ(ウーファー)
	45.3ℓ(ミッドウーファー)

寸法(W×H×D) 122.3×90.1×51.0cm
重量 120kg

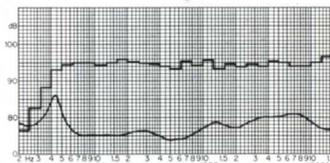
①IEC268-5に指定された信号を用いて測定。②500Hz-2.5kHzにおける平均値です。



Professional Series

4345 Studio Monitor

デジタル化に代表される録音技術の進歩に対応し、JBLの最新音響技術を集大成した4345。専用に開発した46cm口径ウーファーをベースにした4ウェイシステムで、より高い音圧レベル、広ダイナミックレンジ、超低歪レベル、広帯域化など卓越した特性を備えています。ウーファーはJBL独自のランサプラス塗布硬質コーン紙を採用、新設計フレームの使用とあいまって低域特性を向上させました。また、25cm口径ミッドウーファーをはじめ2420、2405など定評あるユニットを使用し、配置もステレオ音像を追求した《ミラー・イメージペア》構成です。マルチアンプドライブは290Hz、18dB/octで行います。



4345のインピーダンス特性/周波数特性図

4345……………標準価格¥870,000(1本)

4344……………標準価格¥670,000(1本)

	4345	4344
許容入力(RMS)①	120W(ネットワーク時)	120W(ネットワーク時)
インピーダンス	8Ω	8Ω
周波数特性(±3dB)	32Hz-20kHz	35Hz-20kHz
指向性(水平×垂直)	60°×30°(16kHz)	60°×30°(16kHz)
音圧レベル(1W,1m)②	95dB	93dB
クロスオーバー周波数		
ネットワーク時	320Hz、1.3kHz、10kHz	320Hz、1.3kHz、10kHz
エンクロージャー容積	253ℓ(ウーファー)	156ℓ(ウーファー)
	14ℓ(ミッドウーファー)	14ℓ(ミッドウーファー)
寸法(W×H×D)	76.5×109.6×47.0cm	63.5×105.1×43.5cm
重量(梱包時)	112kg	104kg

①連続プログラム表示はこの値の2倍です。②500Hz-2.5kHzにおける平均値です。



4344 Studio Monitor

スタジオのリファレンス機として確かな実績を得た4343Bの後継機たる4344はワイドレンジ化、低歪率化など総合音響特性を追求する4300シリーズのひとつの到達点です。4ウェイシステムのポイントたるミッドウーファーはブレイクアップ歪を低減させた新コーン紙を用いた2122Hを採用、システムバランスを向上させました。ウーファーは超低域再生に優れた2235H、ドライバーは高域特性を改善した2425J、ツイーターは2405Hです。ユニット配置は《ミラー・イメージペア》構成とし確かな定位を実現します。また、マルチアンプ駆動が可能な切り換えターミナルも装備しました。4344こそ真のプレイバックモニターです。



4344

4345

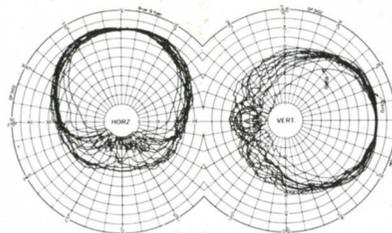


4435 Studio Monitor

最新音響理論が生んだバイラジアルホーン搭載の4400シリーズは革新的な2ウェイモニターです。JBL独自のバイラジアルホーンは水平・垂直共に100°×100°の広範な指向特性を広帯域にわたって確保、中高域のパワーレスポンスをフラットにしています。さらにウーファーとドライバーの振動板位置を同一面に配置することが可能になり優れた位相特性を得ることができました。4435は38cm径ウーファー2234H×2、2421A+バイラジアルホーンという構成で1本のウーファーは100Hz以下のみで使用し、より大きな低域出力を実現するとともに中低音域の指向性を大幅に改善しています。また、高域特性を向上させたダイヤモンド・サスペンション採用の2421Aは1kHz~16kHzをフラットに再生、さらにバイラジアルホーンによって均一なエネルギー特性を実現しました。また、マルチアンプ駆動でミナルを装備し、よりクオリティを高めることが可能です。

4430 Studio Monitor

4430は4435と同一の設計思想で開発された2ウェイシステムです。ウーファーは大入力時にも安定した動作が得られる新サスペンションを搭載した最新・最強の38cm径2235Hを採用し、ローエンドのリニアリティを高めています。そして2421A+バイラジアルホーンの採用と相まって2ウェイモニターの新たな次元を拓きました。4435同様マルチアンプ駆動が可能です。



バイラジアルホーンの極座標特性

4435.....標準価格 ¥590,000 (1本)
4430.....標準価格 ¥470,000 (1本)

	4435	4430
許容入力(連続プログラム)①	375W	300W
ピーク入力(≤10ms)	2kW	2kW
インピーダンス	8Ω	8Ω
周波数特性(+3dB)	30Hz~16kHz	35Hz~16kHz
指向性(-6dB, 1.25kHz~16kHz)	100°×100°	100°×100°
音圧レベル(1W, 1m)②	96dB	93dB
クロスオーバー周波数	1kHz	1kHz
エンクロージャー容積	280ℓ	140ℓ
寸法(W×H×D)	96.5×90.8×51.5cm	55.6×90.8×48.0cm
重量(梱包時)	114kg	79.5kg

①IEC268-5に指定された信号を用いて測定 ②500Hz~2.5kHzにおける平均値です。



Professional Series



4411 Control Monitor

JBLの最新コントロールモニター4411は、進歩する最新録音技術に対応した完成度の高い3ウェイシステムです。音楽制作サイドの要望に応えた横置き専用設計という、新しいかたちのモニターシステムとして誕生しました。ユニット配置を左右対称のミラー・イメージペア構成とし明確な音像定位が得られます。

4401 Control Monitor

最もコンパクトなモニターシステム4401にはJBLだけのプロ用技術が凝縮されています。低歪率SFG磁気回路、ロングスコイルなど上級機からのノウハウを生かし、さらに吊下げ用金具も用意され、小さなスペースでのメインモニター、コントロールルームでのセカンドモニターに適した仕様となっています。

4312 Control Monitor

4312は世界中のスタジオで圧倒的な評価を得、ホームユースとしても広く活躍してきた4311Bの後継機です。30cmウーファーベースのオールコン型3ウェイシステムで、帯域バランスに優れています。グリルを外さずにアッテネーションが可能です。

4301Bwx Control Monitor

放送局用のモニターシステムとして開発されたコンパクトな4301BはJBLサウンドを正統に継承。20cm口径ウーファーには低歪率SFG磁気回路を搭載、3.6cm径ダイレクト・ラジエーターは周囲にテーパーをつけて諸特性の向上を図っています。



●マウントフレームMC4401
標準価格 ¥12,000
←MC4401に4401をセットした状態

4411.....標準価格 ¥220,000 (1本)
4401.....標準価格 ¥ 68,000 (1本)
4312.....標準価格 ¥153,000 (1本)
4301BWX 標準価格 ¥ 93,000 (1本)

	4411	4401	4312	4301BWX
許容入力(連続プログラム)①	150W	60W	80W	30W
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω
周波数特性(+3dB)	45Hz~18kHz	70Hz~18kHz	45Hz~15kHz	45Hz~15kHz
指向性(水平・垂直)	120°	120°	90°	90°
音圧レベル(1W, 1m)②	90dB	88dB	91dB	88dB
クロスオーバー周波数	1kHz	2.5kHz	1.5kHz	2.5kHz
エンクロージャー容積	42ℓ	14ℓ	40ℓ	28ℓ
寸法(W×H×D)	36.2×59.7	23.8×37.5	36.2×59.7	29.1×48.3
	×32.7cm	×18.3cm	×29.8cm	×30.6cm
重量	24kg	16kg	20kg	12.7kg

①IEC268-5に指定された信号を用いて測定 ②500Hz~2.5kHzにおける平均値です。



CABARET SERIES



JBLのキャバレー・シリーズは、サウンド・リインフォースメント及びミュージカル・インストゥルメント用に開発されたスピーカーシステムです。エンクロージャーは19mm厚の硬質多層合板を使用、全面にポリウレタン・コーティングを施し高い強度を確保しました。さらに輸送中の事故からユニットを保護するフロントカバー（オプション）、スタック使用時に便利なコーナーガード、搬送用のとっ手などを装備し高いクオリティを得ながらも耐久性とハンドリングを高めた設計がなされています。

●**モニター用 4602B** ステージモニター用として設計された4602Bはセッティング角度を30°、60°と変化できるユニークな形状のエンクロージャーを採用しています。30cm口径ワイドレンジE120とリングラジエーター2402H、3kHzのクロスオーバー周波数に設定したツイーティングネットワークで構成し、ワイドでフラットな周波数レスポンスを実現しました。浸透性が高い明快なサウンドをアーティストに提供します。

●**サウンド・リインフォースメント用 4612B** バイラジアルホーン採用の2404Hツイーターと新設計の20cm径中低域用ユニット2118H×2により構成したコンパクトな可搬型SRシステムです。フラットな周波数特性と高耐入力特性に加え広範な指向特性を誇るバイラジアルホーン、MT4612によるスタンド設置も可能であらゆる場面を良質なサウンドで満たします。



- 4602B ¥220,000
- 4612B ¥230,000
- 4628B ¥305,000
- 4680B ¥500,000
- 4691B ¥325,000

- 4602CVR (4602Bフロントカバー) ¥20,000
- 4612CVR (4612Bフロントカバー) ¥20,000
- 4680CVR (4680Bフロントカバー) ¥30,000
- 4620CVR (4628B, 4691Bフロントカバー) ¥25,000

※価格は全て標準価格で表示。

	周波数特性	許容入力 (連続プログラム)	インピー ダンス	音圧レベル (1W, 1m)	クロスオーバー 周波数	エンクロ ージャー容積	寸法 (W×H×D)	重量
4602B	50Hz~15kHz	300W	8Ω	103dB	3kHz	42ℓ	40.6×50.8×37.4cm	25.9kg
4612B	60Hz~21.5kHz	400W	8Ω	97dB	3kHz	28ℓ	54.6×47.0×26.0cm	20.4kg
4628B	35Hz~21.5kHz	400W	8Ω	98dB	800Hz/3kHz	127ℓ	51.2×76.7×47.8cm	49.2kg
4680B	55Hz~15kHz	600W	8Ω	105dB	3kHz	142ℓ	40.2×132.2×37.2cm	62.1kg
4691B	40Hz~20kHz	400W	8Ω	103dB	1.5kHz	127ℓ	51.2×76.7×47.8cm	49.4kg

●**キーボード用 4628B** 幅広い音楽表現力を要求される電子キーボード用及びSR用として設計。低音用のE145は10.3kgの大型磁気回路と強固なダイキャストフレームにより重低音を力強く表現します。中音域にはSFG磁気回路、新サスペンションなどによりリアリティを高めた2118Hを使用、高音域には広範な指向特性を誇る最新の2404Hを搭載し、クリアなサウンドを得ました。また、パイアンプ駆動も可能です。

●**ラインアレー 4680B** 小ホールやバンケット・ホール広範なSRシステムとして設計され、高い音圧レベルと耐入力特性を実現しています。25cm径ワイドレンジE110を4本と2402Hツイーター2本を搭載し55Hz~15kHzまでをフラットに再生、人の声はもとよりあらゆる楽器の音をナチュラルに表現することが可能になりました。しかも、ラインアレー型であるためオーティエンスの視野をさげることがありません。

●**サウンド・リインフォースメント用 4691B** 高音圧レベルと高音質を必要とするSR用として開発されたコンパクトなシステムです。38cm径ウーファーE140、ワイドレンジドライバー2425J+バイラジアルホーン2370で構成され40Hz~20kHzというワイドな周波数特性と103dBの高効率に加え低歪率・高耐入力を誇っています。パワーとクオリティを両立させたことによりSR用だけでなく楽器用、モニター用としても最適です。



Professional Series 4612OK

●**コンパクトSRシステム** 標準価格¥160,000
高いパワー・ハンドリングとハイクオリティなサウンドを両立させた常設用SRシステムです。ユニット構成は4612Bと同一ですがオーク調のシックなエンクロージャーによりインテリアの雰囲気損ねることなしにあらゆるスペースを良質なJBLサウンドで満たすことができます。

●許容入力(連続プログラム): 400W (ピンクノイズ) 200W ●インピーダンス: 8Ω ●周波数特性: 60Hz~21.5kHz ●指向性(水平×垂直): 100°×100° ●音圧レベル(1W, 1m): 97dB ●クロスオーバー周波数: 3kHz ●使用ユニット: 2118H×2, 2404H×1 ●寸法(W×H×D): 54.6×43.8×25.4cm ●重量: 20.4kg

●MT4612はオプションです。

MI SERIES



MI-631

MI-632

MI-15

MI-10

MI-12

Defined Coverage Loudspeaker System 4660

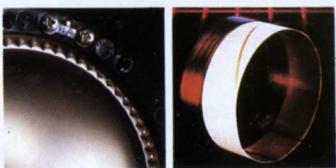


MIシリーズは、「より多くのプレイヤーにJBLサウンドを」というコンセプトに基づき開発されました。従来のJBL製品に比べ手頃な価格ですが、楽器用スピーカーに求められる厳しい条件を全て備えています。広い周波数レンジとDレンジ、高効率、高耐久力を確保すべく数多くの技術力が投入されているのです。

●**モニター用MI-631** ステージモニター用として設計されたスラントしたフロントパツフルによりアーティストに良質なサウンドを提供します。低音域には30cm口径のMI-12ウーファーを採用、中高音域はチタン振動板にダイヤモンドサスペンションを組み合わせたワイドレンジドライバー、パイラジアルホーンを搭載しワイドでフラットな周波数レスポンスを実現しました。

●**サウンド・ラインフォースメント用MI-632** 小規模なSR用システムとして設計されたMI-632は低音域に38cm口径MI-15ウーファーをフロントホーン付きエンクロージャーに搭載し高効率、高耐久力化を図りました。中高域はMI-631と同等のユニットで構成し良質なJBLサウンドを客席の隅々まで浸透させます。SR用、楽器用など幅広い用途に対応します。

●**ワイドレンジMI-10/MI-12/MI-15** MIシステム用開発された3種のユニットは低歪率SFG磁気回路、4層巻きボイスコイルなどJBLテクノロジーを正統に受け継いでいます。MI-10はリードギターやポータルをパツフルに表現し、MI-12はリード/リズムギター及びキーボード用、MI-15はギター、キーボード、オルガンなどをリアルに再現することが可能です。



〈写真左〉ダイヤモンド構造をもつチタンダイヤフラム
〈写真右〉エッジワイズ巻きボイスコイル

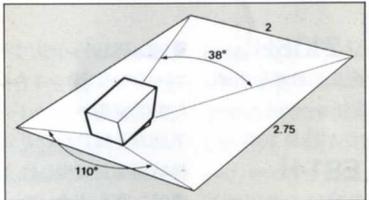
	MI-631	MI-632
周波数特性(-10dB)	60Hz~15kHz	50Hz~15kHz
許容入力(連続プログラム)	300W	300W
インピーダンス	8Ω	8Ω
音圧レベル(1W, 1m)	100dB	102dB
指向性(水平×垂直)	90°×40°	90°×40°
クロスオーバー周波数	2kHz	1.5kHz
寸法(W×H×D)	43.9×34.9×53.5cm	61.5×84.0×43.6cm
重量	21kg	45.5kg

	MI-10	MI-12	MI-15
口径	25cm	30cm	38cm
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω
許容入力(連続プログラム)	150W	150W	150W
音圧レベル(1W, 1m)	98dB	100dB	102dB
周波数特性	70Hz~8kHz	60Hz~7kHz	50Hz~6kHz
ボイスコイル直径	5.1cm	5.1cm	5.1cm
磁束密度	10,500gauss	10,500gauss	10,500gauss
奥行寸法	11.6cm	13.7cm	16.2cm
重量	2.7kg	3kg	3.2kg

- MI-631.....標準価格¥165,000
- MI-632.....標準価格¥225,000
- MI-10.....標準価格¥29,000
- MI-12.....標準価格¥34,000
- MI-15.....標準価格¥39,000

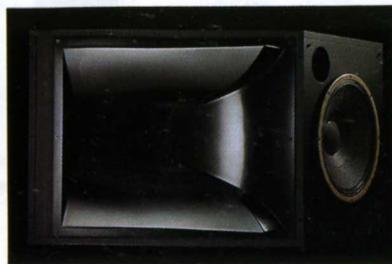
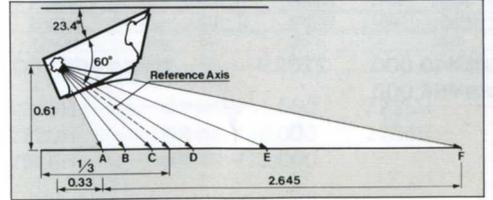
小ホールや会議場、イベント会場などで、四角い部屋のすみずみまで均一な音圧レベルが得られるようにコントロールされた特殊な指向特性をもつユニークなSR用システムです。ここに使用された特異な形状のホーンは、部屋の前方向に対して110°、後方に38°の変形したパターンをもち、天井からやや斜めに吊り下げたときフロアア上にちょうど四角いサービスエリアが描かれるように設計されています。従来のスピーカーでは3本以上の高域ホーンを必要としたスペースを1台でカバー。革命的ともいえるこのホーンを、JBLではディファインド・カンバーレージ・ホーンと名づけました。

サービスエリアは、幅と奥行の比が2:2.75の四角い部分を基準としていますが、スピーカーの吊り下げ角度を変えることにより、さまざまな寸法比の場所に対応させることができます。また低域ドライバーはエンクロージャーの正面に取付けられ、後方エリアを向くようにセットされます。これによって部屋の後部でも良好な周波数バランスが保たれるのです。



使用ユニット	2225H, 2425J
許容入力(連続プログラム)①	150W
周波数特性	(-10dB)40Hz~15kHz (±4dB)80Hz~12kHz
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(1W, 1m)②	99dB
クロスオーバー周波数	800Hz
寸法(W×H×D)	60.7×107.6×51.8cm
重量	61.2kg

①IEC268-5に指定された信号を用いて測定。②500Hz~2.5kHzにおける平均値です。



4660 標準価格¥560,000(1本)



Special Duty Loudspeakers

●**13cm径スピーチレンジ2105H**
BGM再生やスピーチ再生に最適な中高音域用ユニット。高い音圧レベルとスムーズなレスポンス、広指向性が特長です。

●**20cm径フルレンジLE8T-H**
フルレンジ・ユニットの名品として多くのJBLファンを魅了してきました。JBL独自のダンピング剤「ランサプラス」を塗布した白いコーン、強力磁気回路、エッジワイズ巻きボイスコイルなどのオリジナル技術を集結し、フルレンジの魅力を満喫させてくれます。

●**20cm径ミッドレンジ/ウーファー2118H**
コンパクトなSRシステム4612に搭載された中低域用ユニットです。低歪率SFG磁気回路をはじめかすかすの新技術で広帯域再生を実現しました。

●**25cm径ミッドウーファー2122H**
4ウェイシステムの中核を担う中低域用ユニットです。新開発コーン紙、強力磁気回路などを採用、同時に広いダイナミックレンジを実現するとともにクロスオーバー周波数外での歪を大幅に改善するなど優れた

特性を誇ります。スタジオモニター4345、4344に採用されました。

●**30cm径ミッドウーファー2202H**
最高級スタジオモニター4355に搭載。パワフルな中低域を再現します。12,000ガウスの磁束密度をもつ強力磁気回路や精密設計ボイスコイルなどで構成、ファンダメンタルな帯域をよりピュアに再生、大型4ウェイシステムの音質・特性を大幅に向上させてくれます。

	口径	インピーダンス	許容入力 (連続プログラム)	音圧レベル (1W, 1m)	周波数帯域	fo	磁束密度 (gauss)	エンクロージャ 容積	奥行	重量
2105H	13cm	8Ω	50W	94dB①	300Hz~15kHz	200Hz	13,500	6ℓ	4.5cm	1.2kg
LE8T-H	20cm	8Ω (16Ω)	50W	89dB	35Hz~15kHz	45Hz	8,500	21~113ℓ	9.8cm	3.9kg
2118H(J)	20cm	8Ω	50W	97dB①	70Hz~7kHz	85Hz	10,500	14~28ℓ	9.8cm	3.9kg
2122H	25cm	8Ω	75W	95dB①	250Hz~2kHz	35Hz	10,500	11.3ℓ以上	11.5cm	5.5kg
2202H	30cm	8Ω	300W	99dB②	60Hz~4kHz	50Hz	12,000	57~113ℓ	11.4cm	9.4kg

①500Hz~2.5kHzをスイープして測定 ②100Hz~500Hzをスイープして測定

2105H……………標準価格¥24,000
LE8T-H……………標準価格¥49,000

2118H……………標準価格¥40,000
2122H……………標準価格¥56,000

2202H……………標準価格¥66,000



Low Frequency Loudspeakers

●**30cm径ウーファー2213H**
独自のダンピング剤「ランサプラス」塗布のコーン紙やリブ付きダイキャストフレームを採用、迫力ある低音を再現します。

●**38cm径ウーファー2220H**
Hと同様サウンド・リインフォースメント用のユニットです。音圧レベルが101dBと抜群の高さを誇り、小入力時でもリアリティよい低音再生が可能となります。

●**46cm径ウーファー2225H**
サウンド・リインフォースメント用に設計された

38cm径ウーファーで、ダンパーを改善し許容入力を向上させています。パスレフまたはホーンロードにマウントして使用します。

●**38cm径ウーファー2225H/2234H**
JBLの大型モニタースピーカー用に開発された2つの最新型38cm径ウーファーです。独自のSFG磁気回路や強化サスペンションの採用により低歪率、高耐久力特性を実現しています。2234Hにマスコントロールリングを加え、ローエンドをさらに拡張したのが2235Hです。

●**46cm径ウーファー2240H**
SFG磁気回路やロングボイスコイルなどを採用、歯切れのよい重低音再生を実現したサウンド・リインフォースメント用ウーファー。パスレフかホーンロードに収納します。

●**46cm径ウーファー2245H**
デジタル録音などに対応する4ウェイモニター4345用に開発しました。100mm径、25mm長のロングボイスコイルと強力磁気回路を採用、ハイパワー時の出力の圧縮もなく、優れたパワー・リアリティを誇る46cm径です。

	口径	インピーダンス	許容入力 (連続プログラム)	音圧レベル① (1W, 1m)	周波数帯域	fo	磁束密度 (gauss)	エンクロージャ 容積	奥行	重量
2213H	30cm	8Ω	75W	88dB	40Hz~3kHz	25Hz	10,000	42.5ℓ以上	10.8cm	6.0kg
2220H(J)	38cm	8Ω (16Ω)	200W	101dB	40Hz~2kHz	37Hz	11,500	170~281ℓ	13.9cm	10.4kg
2225H(J)	38cm	8Ω (16Ω)	400W	97dB	30Hz~2kHz	40Hz	13,500	82~285ℓ	13.7cm	10.1kg
2235H	38cm	8Ω	300W	93dB	20Hz~2kHz	20Hz	12,000	85~285ℓ	13.7cm	10.1kg
2234H	38cm	8Ω	300W	96dB	20Hz~2kHz	23Hz	12,000	85~285ℓ	13.7cm	10.1kg
2240H	46cm	8Ω	600W	98dB	30Hz~2kHz	30Hz	12,200	140~340ℓ	19.1cm	13.6kg
2245H	46cm	8Ω	600W	95dB	20Hz~2kHz	20Hz	12,200	225~450ℓ	19.1cm	13.6kg

①100Hz~500Hzをスイープして測定

2213H……………標準価格¥51,000
2220H……………標準価格¥69,000
2225H……………標準価格¥72,000

2235H……………標準価格¥79,000
2234H……………標準価格¥79,000

2240H……………標準価格¥135,000
2245H……………標準価格¥135,000



E-Series Loudspeakers

Eシリーズは高能率、大許容入力、広い再生帯域を誇る楽器演奏用、サウンド・リインフォースメント用スピーカーです。とくに最新の電子楽器の再生に要求される厳しく、苛酷な条件を満たし、楽器それぞれの音色を余裕あるサウンドで再生します。

- 25cm径ワイドレンジE110 広帯域を歯切れよくパワフルに再生。リードギター、リズムギター、オルガンの演奏用やポータル用に最適な25cm径ワイドレンジです。
- 30cm径ワイドレンジE120 強力

な磁気回路や大口径ボイスコイルを採用、低音域から中高音まで高能率で再生します。リズム/リードギター、オルガン用です。

- 38cm径ワイドレンジE130 大音量レベルでの音楽再生に適した38cm径です。リード/リズムギター、エレクトリックピアノ、オルガンなどの強烈な信号をも余裕をもって再生する高能率設計ユニットです。
- 38cm径ウーファーE140 最大許容入力400W連続プログラム、音圧レベル

101dBと優れた音響特性をもち、ベースギ

ター、オルガンなどの重低音を力強く再現。

- 38cm径ウーファーE145 低歪率の強力大型磁気回路と堅牢なダイキャストフレームを採用した38cm径です。ベース、オルガンなどの重低音を鮮明に再生、音質はもちろん特性、耐久性も高めています。
- 46cm径ウーファーE155 ローエンドまでパワフルに再生する46cm径ウー

ファーです。大型磁気回路、応答性に優れたコーン紙、堅牢なフレームなどに加え、電子オルガン、ベースの再生に最適です。

口径	インピーダンス	許容入力 (連続プログラム)	音圧レベル① (1W, 1m)	周波数特性	fo	磁束密度 (gauss)	エンクロージャー容積	奥行	重量
E110-8	25cm 8Ω	150W	98dB	60Hz~8kHz	65Hz	10,200	30~85ℓ	10.5cm	5.4kg
E120-8	30cm 8Ω	300W	103dB	50Hz~6kHz	60Hz	13,500	30~85ℓ	11.5cm	9.5kg
E130-8	38cm 8Ω	300W	105dB	50Hz~6kHz	40Hz	13,500	55~115ℓ	13.7cm	10.1kg
E140-8	38cm 8Ω	400W	100dB	40Hz~2.5kHz	32Hz	13,500	85~225ℓ	13.7cm	10.1kg
E145-8	38cm 8Ω	300W	98dB	40Hz~2.5kHz	35Hz	9,500	85~225ℓ	16.0cm	13.0kg
E155-8	46cm 8Ω	600W	100dB	30Hz~2kHz	30Hz	12,200	85~225ℓ	19.1cm	13.6kg

① 500Hz~2.5kHzをスイープして測定

- E110……………標準価格¥54,000
- E120……………標準価格¥67,000
- E130……………標準価格¥71,000
- E140……………標準価格¥72,000
- E145……………標準価格¥92,000
- E155……………標準価格¥140,000



High Frequency Drivers

- ツイーター2402H/2403H/2404H/2405H 2402HはSR用に設計され110dBという高能率を誇り低い周波数からの使用も可能です。2403Hは楕円形の開口部をもち、パツフル板に取付けた状態でウーファーと位相関係が等しくなります。2404Hは新設計バイラジアルホーンを採用し広帯域にわたって水平・垂直ともに均一な指向性を実現しました。2405Hはツイーターシステムに多く使用された実績をもつディフラクションホーン搭載です。

- ワイドレンジドライバー2425J/2445J/2441 広帯域にわたってフラットで低歪な設計がなされたワイドレンジドライバーはスタジオモニターおよびハイクオリティなSR用に適しています。2425J、2445Jは大口径ビュアチタン・ダイヤモンドフラムや独自の発想から生まれたダイヤモンドサスペンションが採用され高域を伸長させるとともにリアリティが向上しました。アルニコVマグネットをもつ大型ドライバー2441は10.2cm径のアルミダイヤモンドフラムにより優

れた音響特性を実現しています。いづれもJBLホーンとの組合せが適します。

- ハイパワードライバー2482 大許容入力と高能率を目指して設計されたハイパワードライバーで、フェノール含浸リネン製ダイヤモンドフラムにより高い音圧レベルの再生が可能です。室内PA用や野外PA用など苛酷な条件下での使用にも耐える優れた耐久性、安定性を誇ります。また、JBLのホーン・レンズと組み合わせることによってパワフルなサウンドを広範囲に拡散します。

ホーン開口/スロット径	インピーダンス	許容入力 (連続プログラム)	音圧レベル (1W, 1m)	周波数帯域	クロスオーバー 周波数	磁束密度 (gauss)	直径	奥行	重量
2402H	7.5cm	8Ω	20W	110dB①	2.5kHz~15kHz	2,500Hz以上	16,500	12cm	9.8cm 2.4kg
2403H	6.4×3.2cm	8Ω	20W	105dB①	5kHz~21kHz	5,000Hz以上	16,500	12cm	13cm 2.6kg
2404H	13×13cm	8Ω	40W	105dB④	3kHz~21.5kHz	3,000Hz以上	17,500	12cm	12.8cm 2.1kg
2405H	7.9×1.8cm	8Ω	20W	105dB②	6.5kHz~21.5kHz	7,000Hz以上	16,500	12cm	9.8cm 2.5kg
2425J(H)	2.5cm	16Ω (8Ω)	70W	110dB③	800Hz~20kHz	800Hz以上	17,000	14.6cm	10.8cm 4.8kg
2441	5cm	16Ω	70W	111dB③	500Hz~18kHz	500Hz以上	18,000	17.8cm	13.6cm 11.3kg
2445J	5cm	16Ω	100W	111dB③	500Hz~20kHz	500Hz以上	19,000	23.5cm	13.1cm 13.6kg
2482	5cm	16Ω	120W	111dB③	300Hz~6kHz	300Hz以上	18,000	17.8cm	13.6cm 11.3kg

① 5kHz~20kHzをスイープして測定 ② 7kHz~20kHzをスイープして測定 ③ 2350ホーンを取り付けクロスオーバー周波数より2.5kHzまでをスイープして測定 ④ 3kHz~20kHzをスイープして測定

- 2402H……………標準価格¥53,000
- 2403H……………標準価格¥64,000
- 2404H……………標準価格¥62,000
- 2405H……………標準価格¥60,000
- 2425J……………標準価格¥82,000
- 2441……………標準価格¥190,000
- 2445J……………標準価格¥140,000
- 2482……………標準価格¥190,000



Dividing Networks

●フリクエンシー・デバイディング・ネットワーク JBLのプロ用ネットワークは各種のクロスオーバー周波数に設定したものが用意されJBLユニット群のあらゆる組み合わせに対応することが可能です。構成パーツはネットワーク専用開発した高耐圧無誘導・無極性コンデンサー、精密な調整を行った低損失インダクター、苛酷な使用に耐え得る抵抗器、大電流用スイッチなど最高級品を慎重なテストの後に採用しています。特に3110Aから3145の5機種は

正確なクロスオーバー周波数を得るため、低域に独自のインピーダンス補正回路を採用するなど各ユニットのポテンシャルをフルに引き出し得る設計としました。

3105は2ウェイを3ウェイ化する時に用い7kHzのクロスオーバー周波数に設定されています。3110A、3115A、3120Aは2ウェイ用として設計、従来のトランス式3ポジション・アッテネーションに加え高音域のブースト回路を新設、SR用としてパイラジアルホーン使用時に最適な周波数レ

スポンズを得ることが可能です。3ウェイ用の3133A、4ウェイ用の3145は独立した連続可変型アッテネーターを装備し、同時に2チャンネルマルチアンプ駆動用の端子と切り換えSWを備えています。ハイパワー用の3160は500Hzのクロスオーバー周波数に設定され、低域側インピーダンスを4Ωとしダブルウーファー用に対処しました。ストラッピングバー式のアッテネーションに加え高域のブースト回路を設け、高音域の減衰を防いでいます。

モデル	クロスオーバー周波数	許容入力 (連続プログラム)	インピーダンス		高音域アッテネーション	重量
			低音域	高音域		
3105	7kHz	50W	16Ω	8-16Ω	可変ボリューム	0.7kg
3110A	800Hz	300W	8Ω	16Ω	6.8, 10dBスイッチ	1.9kg
3115A	500Hz	300W	8Ω	16Ω	6.8, 10dBスイッチ	1.9kg
3120A	1.2kHz	300W	8Ω	16Ω	6.8, 10dBスイッチ	1.1kg
3133A	800Hz, 8.5kHz	150W	8Ω	①	可変ボリューム	4.4kg
3145	320Hz, 1.3kHz, 10kHz	240W	8Ω	②	可変ボリューム	3.0kg
3160	500Hz	600W	4Ω	16Ω	0.2, 4, 6, 8dBストラップ	5.5kg

①ドライバーは16Ω、ツイーターは8Ω ②ミッドウーファー、ツイーターは8Ω、ドライバーは16Ω

3105	標準価格 ¥23,000	3120A	標準価格 ¥64,000	3160	標準価格 ¥74,000
3110A	標準価格 ¥68,000	3133A	標準価格 ¥72,000		
3115A	標準価格 ¥66,000	3145	標準価格 ¥100,000		



Horn/Lens Assemblies

●ホーン/レンズ2301 10m前後の比較的近距离でのサウンド・リインフォースメント用として開発されたホーン/レンズです。リング状多孔板を重ねた音響レンズは中高音を90°の円錐形に拡散します。

●レンズ2308 25.4cmのスラントプレート11枚で構成する音響レンズです。2307、2311、2312のホーンと組合せて中高音の近距離用拡散に使用します。パツプへの取付けは付属のマジックテープを用いて手軽に行なえます。

●エクスポネンシャルホーン2307/2311/2312 この3機種は音響レンズ2308と組合せて使うホーンです。2307、2311はクロスオーバー周波数1.2kHzで用いますが、2312はホーン長が29.3cmと長いので800Hzという低いクロスオーバー周波数での使用が可能です。また、エクスポネンシャルホーンと音響レンズの組合せはスタジオモニターシステムにも多く採用されているように、優れた周波数特性、指向特性を実現しています。

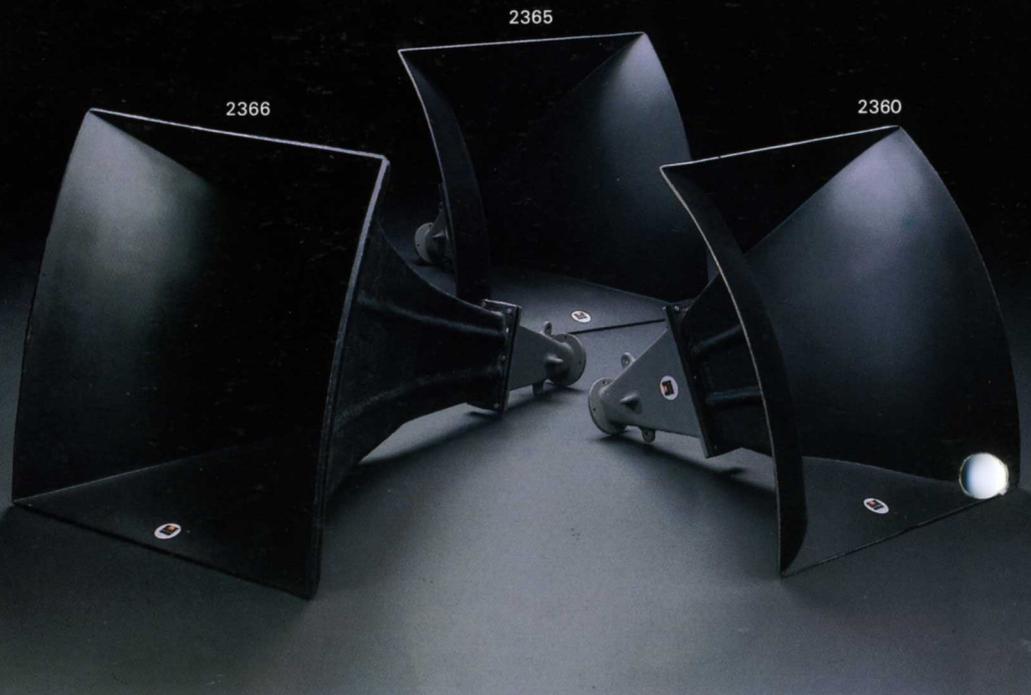
●ホーン2309/レンズ2310 このホーンとレンズの組合せは近距離用サウンド・リインフォースメントやモニターに適しています。正確な動作を行なうためパツフル板にマウントして使用します。

●ホーン/レンズ2395 91.4cmの巨大なスラントプレートをもつホーン/レンズです。140°×45°の優れた指向性を誇り、中距離のサウンド・リインフォースメント用に最適です。設置の付属金具を用いてエンクロージャーの上部に固定します。

モデル	指向性 (水平×垂直)	クロスオーバー周波数	音圧レベル③ (1W, 1m)	スロート径	寸法 (W×H×D)	重量
2301	90°コニカル	1.2kHz	109dB	2.5cm	直径14.6cm、長さ17.3cm	1.4kg
2308					25.4×15.6×6.3cm	0.5kg
2307	80°×45°①	1.2kHz	108dB①	2.5cm	直径15.6cm、長さ21.6cm	1.1kg
2311	80°×45°①	1.2kHz	108dB①	5cm	直径15.6cm、長さ11.7cm	0.9kg
2312	80°×45°①	800Hz	108dB①	2.5cm	直径15.6cm、長さ29.3cm	1kg
2310					50.5×17.8×11.8cm	1.8kg
2309	100°×45°②	800Hz	107dB②	5cm	26.7×19.1×30.5cm	2.5kg
2395	140°×45°	800Hz	108.5dB	5cm	91.4×38.1×47.6cm	11.6kg

①2308レンズを取付けて測定 ②2310レンズを取付けて測定 ③JBLドライバーを取付けた状態でのクロスオーバー周波数より2.5kHzまでをスイープして測定

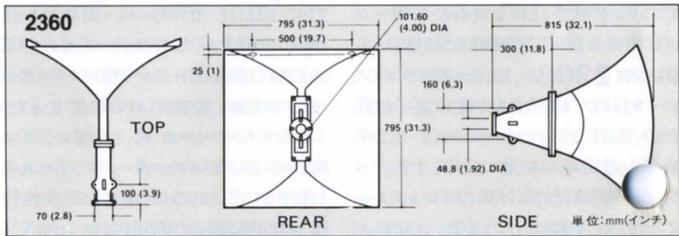
2301	標準価格 ¥30,000	2311	標準価格 ¥20,000	2309	標準価格 ¥30,000
2308	標準価格 ¥14,000	2312	標準価格 ¥22,000	2395	標準価格 ¥160,000
2307	標準価格 ¥16,000	2310	標準価格 ¥53,000		



Bi-Radial Horns

● **バイ・ラジアルホーン 2360/2365/2366** 独特な形状のJBLバイ・ラジアルホーンはサウンド・ラインフォースメント用の定指向性ホーンです。500Hzから16kHzまでの広帯域において一定の指向性をもって拡散するため均一な軸上・軸外レスポンスが得られます。2360は93°×46°の指向性をもつ近距離用、2365は66°×46°の中距離用、2366は47°×27°の遠距離用で高い音圧レベルを実現しています。3機種とも79.5cm角の

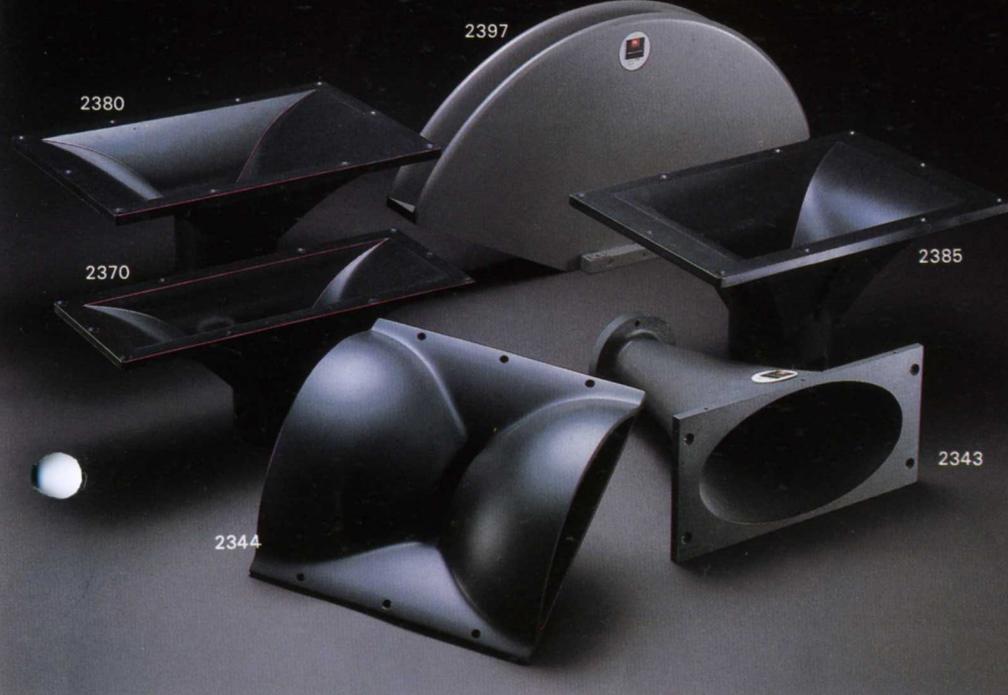
正方形ホーンマウスをもち、2360と2365は2441、2445Jか2482ですが、スロートアダプター 2327を用いて2425Jなどのバイ・ラジアルホーンと接続するドライバーも使用できます。2.5cm径ドライバーも使用できます。



指向性	指向性		クロスオーバー周波数①	音圧レベル(1W, 1m)②	スロート径	寸法(W×H×D)	重量
	水平(-6dB)	垂直(-6dB)					
2360	93°(500Hz~16kHz)	46°(500Hz~16kHz)	500Hz	113dB	5cm	79.5×79.5×81.5cm	12.2kg
2365	66°(500Hz~16kHz)	46°(500Hz~16kHz)	500Hz	115dB	5cm	79.5×79.5×81.5cm	11.3kg
2366	47°(500Hz~16kHz)	27°(1kHz~16kHz)	500Hz	118dB	5cm	79.5×79.5×139cm	16.3kg

①2441使用の場合②2441ドライバーを取付けた状態で630Hzから4kHzまでをスweepして測定

2360.....標準価格¥200,000 2365.....標準価格¥210,000 2366.....標準価格¥330,000



High Frequency Horns

● **エクスポネンシャルホーン 2343** ユニークな楕円形開口部をもつコンパクトな高能率ホーン。800Hz以上で使います。
 ● **バイ・ラジアルホーン 2344** 独自の形状をもつ2344は広帯域にわたり100°×100°という広い指向特性を実現、2425JDドライバーとの組合せはモニター用に最適。
 ● **バイ・ラジアルホーン 2370** JBLの新技術により開発されたコンパクトなFRP製で水平面に対し630Hz~16kHzまでを90°の一定した指向性で再生します。

● **バイ・ラジアルホーン 2380/2385** 大~中規模なサウンドラインフォースメント用定指向性ホーンです。水平面500Hz~16kHz、垂直面で2kHz~16kHzという帯域を90°×40°(2380)、60°×40°(2385)の広範な指向特性でコントロールします。
 ● **ディフラクションホーン 2397** 音響レンズを使用せずに広範な指向特性を実現した木製ディフラクションホーン。音波は6個のエクスポネンシャルホーンを通り、共通の開口部から拡散されます。

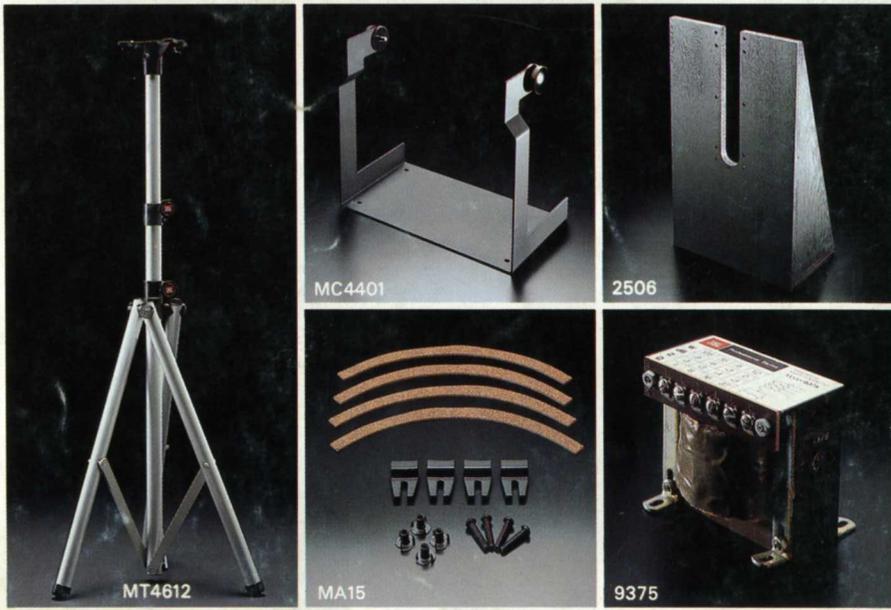
● **スロートアダプター 2327, 2330**はスロート径変換用アダプター。2328は角型スロートホーン用、2329は角型スロートに2個のドライバーを取り付ける時に使用します。



指向性(水平×垂直)	クロスオーバー周波数	音圧レベル①(1W, 1m)	スロート径/スロートアダプター	寸法(W×H×D)	重量
2343	60°×30°	113dB	5cm	34.6×16.2×30.5cm	3.2kg
2344	100°×100°	1kHz	2.5cm	31.8×31.8×16.3cm	
2370	90°×42°	630Hz	2.5cm	44.5×17.3×17.4cm	3.6kg
2380	90°×40°	500Hz	5.0cm	44.5×27.9×23.6cm	5kg
2385	60°×40°	500Hz	5.0cm	44.5×27.9×23.6cm	5kg
2397	140°×60°	800Hz	2328, 2329②	66×9.5×34cm	4.4kg

①JBLドライバーを取付けた状態でクロスオーバー周波数より2.5kHzまでをスweepして測定 ②このホーンはスロートが角型のためスロートアダプターが必要です。

2343.....標準価格¥70,000 2385.....標準価格¥75,000 2328.....標準価格¥17,000
 2344.....標準価格¥61,000 2397.....標準価格¥60,000 2329.....標準価格¥21,000
 2370.....標準価格¥50,000 2327.....標準価格¥16,000 2330.....標準価格¥20,000
 2380.....標準価格¥75,000 2386.....標準価格¥68,000



Option

●スピーカースタンドMT4612

標準価格¥35,000 コンパクトかつ高性能なSRシステム4612専用のスタンドです。MT4612に付属のアダプターで取り付けもワンタッチ。高さ調整も簡単にセッティング時間を大幅に短縮できるとともに4612の能力をフルに発揮することが可能です。

●マウントフレームMC4401

標準価格¥12,000 最もコンパクトなモニターシステム4401のパーソナライズな性格

を生かすのがこのMC4401です。壁や天井から吊り下げて使用できるほかフロアースタンドとしても使えます。角度調整も可能で、コントロールルームはもちろん一般家庭内でも4401のポテンシャルを存分に引き出すことが可能です。

●ホーンスタンド2506

標準価格¥13,000 2360をはじめとするSR用大型バイラジアルホーン用の木製スタンドです。エンクロージャー上部に固定

できセッティングを容易にするとともに落下などを未然に防ぐことができます。

●マウントキット MA15

標準価格¥4,000 30、38、46cm径JBLワイドレンジ、ウーファーをバツフル前面より取付けるマウントキット。(E145を除く)

●トランスフォーマー 9375

標準価格¥24,000 100Wのラインマッチング・オートトランスフォーマー。インピーダンスは4、8、16、32Ωとなっています。

harman international

ハーマン インターナショナル インダストリーズ アジア インク

JBL Japan Division

本社営業本部：〒110東京都台東区上野5-7-7公徳堂ビル5F ☎03(836)5641代
東京サービスセンター：☎03(255)5331代 大阪営業所：☎06(301)1396代
福岡営業所：☎092(573)2023代

お買上げは技術・信用ある当店で